

報湖祭

29

感謝報恩ノ念 (徳富蘇峰)

富士五湖の花火大会のうち一番初めに開催される花火大会で、山中、平野、長池、旭日丘の4地区で花火の打ち上げと様々なイベントが開催されます。

昭和5年に村長、平野天満宮宮司、文豪の徳富蘇峰、旭日丘開発の父である堀内良平の4氏の話し合いにより湖の恵みに感謝する祭典として毎年8月1日に開催することを決めました。報湖祭という名前を徳富蘇峰が命名し、昭和8年から現在まで続いています。



報湖祭

写真提供) 有限会社マーディー

村のみんなの

声

長池の浜からだど富士山が背景となり、よりきれい。

昔は旭日丘だけでやっていた。

現在は4地区ごとに花火を上げていますが、4地区をまとめて湖の真ん中から花火を上げられないか。

昔は湖上の船から水中花火を行っていたが、現在は湖の斜め上に向かって上げる水上花火を行っているのが面白い。

4地区ごとに打ち上げるからよいところもある。

1年ごとに各地区持ち回りも面白い。

振り起こされた

宝

● 報湖祭

August

8月

ヒオウギ

30

短い夏を謳歌する花



高指山に咲くヒオウギ

ヒオウギはアヤメ科の野草で、8月に橙色の鮮やかな花を咲かせます。

この花の開花時期に高指山では、「ヒオウギの里祭り」を開催しています。

このイベントでは、参加者がNPOのガイドの案内で山中湖東岸の高指山に登り、山頂周辺のヒオウギ群生地を訪ねるとともに、ヒオウギ苗の植栽体験もしています。

達人

富士山自然学校

村のみんなの

声

北限であるのと、高地では、めずらしい。

東海自然歩道沿いでも見られる。

ねじれて自家授粉する様や真黒な種もおもしろい。

高指山からの景色よい。

高指山では、昔はススキの下で咲いていたが、見やすいようにススキを刈った。

シカの食害で数が減っている。

掘り起こされた

宝

● ヒオウギ

開花日数が1～2日なので、毎日見ていると、花がある場所が日々変化していく。

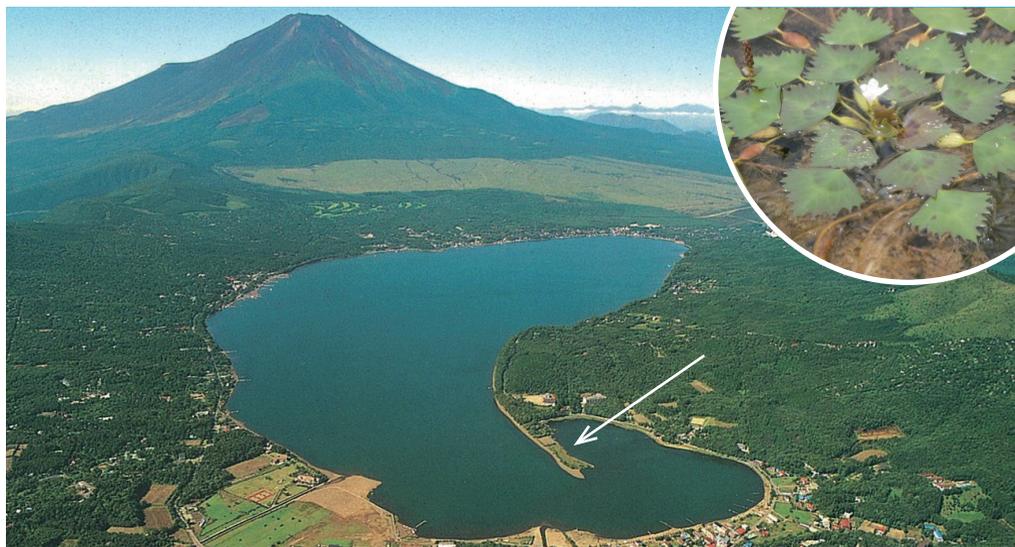
August

8月

山中湖のみさき

31

クジラの尾っぽの付け根



山中湖のみさき

ヒメビシ (右上) 写真提供) 富士山自然学校

山中湖には、大洞からままの森に流れる偏西風によって運ばれた砂が堆積して突き出たくちばし型の堆積地形「砂嘴」があります。

村では、この場所を海岸の岬のように飛び出ていることから、「山中湖のみさき」と呼んでいます。このみさきの近くには入江があり、ヨシヤツルヨシ、8月頃に白い花を咲かせるヒメビシなどの湿生・水生植物を見ることができます。

夏にはヨシヤツルヨシにヨシキリという鳥がいた。

ヒメビシの花の時期にハイキングをするとお客さんに喜んでもらえる。

村のみんなの

声

湖の入江が砂嘴になっているのは珍しい。

ヘラブナ釣りの舟が、風情あり。

ヒメビシはみさきに自生する絶滅危惧種で、ヒシ形の種が忍者の「マキビシ」に似ていて面白い。

ヒメビシの白い小さな花が一面に咲く姿は美しい。

砂嘴は現在も伸びており、このまま対岸まで伸びていくと富士六湖になるのではと冗談を言っている。

ヨシヤツルヨシは水質保全に不可欠で、魚のたまり場にもなっている。

湖の中でこの周辺が一番最初に凍る。

みさきの北側は浅瀬になっていて、山の影になるため、湖が一番凍りやすい。

台風の時、みさきの北側にスワンポートなどを避難させているのを見た。

掘り起こされた

宝

34

山中湖のみさき

●ヨシとツルヨシ

●ヒメビシ

August

8月

標高1000mの環境

32

山梨で一番涼しい夏



白い虹

写真提供) 富塚晴夫氏

村の標高は約1,000mです。
気温は100m高くなると約0.6℃下がるため、標高の高い村の夏は涼しく、避暑地として多くの人が訪れます。

また、村内では、白い虹と呼ばれる霧に白いアーチ状の光の環が表れる現象が見られます。これは、標高1,000mを越す高原では、水の粒子が0.02mmと細かい霧となるため、7色に分光せずみられるもので、やはり標高の高い村ならではの景色と言えます。

このような準高地環境をはじめ、湖や森林などの豊かな自然と富士山などの雄大な景色、そして澄んだ空気は、健康の増進に貢献する可能性があると言われています。

夏のアルバイトさんに長袖服を忘れずにアドバイスする。

標高1000m 0.9気圧はおなかの中の赤ちゃんと同じなので健康に良いらしい!

夏の涼しさは村一番の宝。

夏の涼しさを全くアピールしていないのもったいない。

東京から1時間内圏で標高1000m。空気と水、美しい富士山がある。

近年は都会と暑さは変わらなくなってきている。

夜は暗く静かだからかもしれないが、親戚が来るとよく眠れるといわれる。

かつて、海から生魚を内陸のどこまで運べるかというのがあって、山中湖周辺は標高が高く涼しいため、甲府まで運んでいた。

富士山の裾野がしっかり見られる場所は他にはあまりない。

白い虹は日の当たり始めに現れるため、寝坊の人は見られない。

白い虹は朝露が晴れる時に見られる。

夏のパノラマ台では白い虹のアーチの真中に富士山が見える。

最近では水質が以前より良くないが、東京に比べると水道水でも美味しい。

村のみんなの

声

掘り起こされた

宝

- 標高982m
- 夏の涼しさ

- 健やかに生きる為の環境
- 山中湖村の空気・水・富士山

August

8月

富士山の一日

33

刻々と変わる百面相



富士登山者のヘッドライトの光の列

写真提供) 有限会社マーディー

村から見る富士山は、一日を通して、様々な顔を見せてくれます。

朝 赤富士

雪のない富士山に朝日が当たると地肌が暗褐色に色づきます。特に雨上がりの晴れの日がおすすめ。

昼 雲

富士山の近くには、笠雲やつるし雲など、いろいろな形をした雲があらわれます。この雲で天気予測が可能。

夕 夕焼け富士

夕方になると、村のあちこちから夕焼け空にそびえる富士山を見ることができます。

夜 夜景

富士山からの御来光を目指して夜に登る登山者のヘッドライトの灯りが夜の富士山に光の帯をつくりだしています。

夜 パール富士

沈む月と富士山頂が重なる姿がまるで「真珠」ように見えます。

村のみんなの

声

富士山の砂が朝日に照らされて赤く染まる。

朝撮れる赤富士は、日本、逆さ富士になりやすく相乗効果が出る。

富士吉田に行くと、半赤富士になる。

山脈に稲妻が走るときは、稲妻が横に走るのが見えます。山の上を走る竜神様のようで、神秘的ですよ。

御殿場から山をこえてくる雲、まるでかけぶとんみたい。

登山者のヘッドライトが列をなして見えるのがきれい。

月の出が湖に反射してとてもきれい。

パール富士は朝方なので泊まらないと見られない。

ヘッドライトの光は登山道のジグザクに合わせて雷マークに見える！

掘り起こされた

宝

- 赤富士
- 尾根を越えてくる雲
- 夕焼け富士
- 月の出moonrise
- 富士山の夜景
- パール富士

August

8月